

復興支援インターン 実施要項

平成 26 年 12 月 16 日

1. 企画概要

全国の大学生が被災企業で職業体験を行うことで感じ、学んだ被災地及び被災地産業の現状、復興の進捗・課題、地域の魅力等を学生が自分の所属する地域で発信し、以下に掲げる目的の達成を目指す。

2. 企画目的

- ・ 東日本大震災の風化・風評被害の抑制
- ・ 復興支援を行う大学生の人材育成
- ・ 被災地産業の振興、ひいては被災地域全体の振興への寄与

3. 実施体制（予定）

主催：復興大学災害ボランティアステーション

共催：復興庁宮城復興局

後援：実施地域の市区町村、商工会議所・商工会等

3. 実施地域及び実施期間

実施地域：5 地域（気仙沼市、南三陸町、石巻市、女川町、亘理町・山元町）

※亘理町と山元町は 1 地域として実施。

実施時期：

平成 27 年 2 月 15 日（日）～ 2 月 21 日（土）：南三陸町（6 泊 7 日）

2 月 22 日（日）～ 2 月 28 日（土）：亘理町・山元町、女川町（6 泊 7 日）

3 月 1 日（日）～ 3 月 7 日（土）：石巻市（6 泊 7 日）

3 月 8 日（日）～ 3 月 14 日（土）：気仙沼市（6 泊 7 日）

4. プログラム（予定）

1 日目：仙台集合、事前研修、オリエンテーション

2 日目：活動地域へ移動、語り部・現地視察

3 日目

↓ 職業体験、日々の振り返り

6 日目

7 日目：現地にて体験成果報告会、仙台へ移動、解散

※ご参加いただける大学の皆様におかれましては、参加学生と協力し、報告会等の実施（学外実施も可）にご協力をお願いいたします。

5. 活動スケジュール（予定）

● 1クール 6泊7日

【初日】

- 13:30 東北学院大学土樋キャンパス正門前集合
- 14:00～15:30 事前研修会（東北学院大学土樋キャンパス内）
- 16:00～ 自由時間
- ※希望があれば東北学院大学土樋キャンパス内に宿泊可能

【2日目】

- 9:00～10:30 オリエンテーション（参加学生の声、プログラム確認、諸連絡）
- 10:30～ 活動地域へバスで移動 昼食あり
- 13:30～ 語り部・現地視察
- 16:00 宿泊場所へ到着
- 17:00～18:30 入浴・夕食
- 19:00～20:00 学生間ミーティング（今後の抱負について）

【3～5日目】

- 7:30～9:00 受入企業へタクシー等で移動
- 9:00～12:00 午前の活動
- 12:00 従業員と一緒に昼食
- 13:00～17:00 午後の活動
- 17:00～17:30 宿泊場所へタクシー等で移動
- 17:30～19:00 入浴・夕食
- 20:00～ 学生間ミーティング（日々の振り返りと情報共有）

【最終日】

- 9:00 宿泊場所を出発
- 10:00～11:30 活動地域において体験成果報告会を実施
- 12:00 昼食
- 13:00～ 東北学院大学土樋キャンパスへバスで移動
- 16:30 東北学院大学土樋キャンパス着 解散

※ 初日集合時間および最終日解散時間は原則として変更はありません。

※ 活動地域によっては移動時間等の兼ね合いで若干の時間変動があります。

6. 活動地域での生活について

- ・ 宿泊施設は各活動地域で手配中です。
(民宿、仮設住宅グループホーム、研究施設 など)
- ・ 洗濯は基本的にできないものと考えてください。
- ・ プログラム期間中は原則として禁酒です。

7. 参加費用について

- ・ 各居住地域から宮城県仙台市（集合解散場所：東北学院大学土樋キャンパス）までの往復交通費は各自負担となります。
※所属大学によっては交通費のサポートがある場合がございますので、各大学の担当窓口までお問い合わせください。
- ・ 宮城県仙台市（集合解散場所：東北学院大学土樋キャンパス）から活動地域間の交通費は事務局が全額負担いたします。
- ・ 活動期間中の宿泊費は事務局が全額負担いたします。
- ・ 活動地域内の交通費は事務局が全額負担いたします。
- ・ プログラム期間中にかかる食費に関しては、基本的に各自負担となります。
(目安：10,000～15,000 円)
- ・ プログラム実施にあたり、インターンシップ専用の保険への加入が義務付けられております。こちらの加入費も事務局が全額負担いたします。

8. 各自で準備するもの

- ・ 活動日数分の着替え、洗面用具、食費などのお金、常備薬、健康保険証、筆記用具等
※作業中に着る服は動きやすく、汚れてもよい服装でお願いします。
- ・ (可能であれば) ノートパソコン
※最終日の体験成果報告会ではパワーポイントを使用した発表を行っていただく予定です。
※受入企業によっては、指定する準備物もあります。